

## 積水ハウス・リート投資法人に対するシンジケーション方式による ポジティブ・インパクト・ファイナンスへの参加について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、積水ハウス・リート投資法人（執行役員 木田 敦宏、以下「本投資法人」といいます。）に対するシンジケーション方式によるポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下「本件P I F」といいます。）へ参加しましたので、下記の通り、お知らせいたします。本件P I Fは三井住友信託銀行株式会社（取締役社長 大山 一也）をアレンジャーとするタームローン契約です。

当行では、今後とも、お取引先企業の多様な資金調達ニーズに積極的に対応し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

### 記

#### 1. 案件概要

借入人	積水ハウス・リート投資法人
アレンジャー	三井住友信託銀行
契約日	2022年5月26日
組成金額	60億円（当行3億円）
資金使途	既存借入金の返済
参加金融機関	七十七銀行、三井住友信託銀行他12社

#### 2. ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは

ポジティブ・インパクト・ファイナンスは、企業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資です。企業の活動、製品、サービスによるSDGs達成への貢献度合いを評価指標として活用し、開示情報に基づきモニタリングを行い、エンゲージメントを通じて活動を支援していくことが最大の特徴です。

本件P I Fは、国連環境計画・金融イニシアチブ（注1、以下「UNEP FI」といいます。）が提唱したポジティブ・インパクト金融原則（注2）及び同原則モデル・フレームワーク（資金使途を限定しない事業会社向けの投融資フレームワーク及び不動産投資フレームワーク）に即しており、インパクト評価はアレンジャーである三井住友信託銀行株式会社が実施しております（注3）。

### 3. 本投資法人について

本投資法人は、日本を代表するハウスメーカーでありディベロッパー事業でも豊富な開発・運用実績を有する積水ハウス株式会社をスポンサーとし、戦略的立地と高品質を柱とする「プライム・プロパティ」への重点投資と、積水ハウスグループの総合力とノウハウを最大限活用した成長戦略により、投資主価値の最大化、質の高い社会資本の提供を図っています。

また、「資産運用を通じて人・社会・未来を豊かにする」をビジョンに掲げ、その礎として本投資法人の資産運用会社である積水ハウス・アセットマネジメント株式会社が制定するサステナビリティ・ポリシーを遵守・実行することで、人生100年時代をリードする投資法人として持続可能な社会の実現に貢献するとともに、企業価値の向上に努めています。

#### 注1：国連環境計画・金融イニシアチブ（U N E P F I）

国連環境計画は、1972年に「人間環境宣言」および「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関です。U N E P F I は、国連環境計画と200以上の世界の金融機関による広範で緊密なパートナーシップであり、1992年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展とE S Gへの配慮を統合した金融システムへの転換を進めています。

#### 注2：ポジティブ・インパクト金融原則

U N E P F I が2017年1月に策定した、S D G s の達成に向けた金融の枠組みです。企業がS D G s の達成への貢献をK P I で開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導くものです。

融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングすることによって、インパクトが継続していることを確認します。

#### 注3：本件P I Fにかかるインパクト評価の詳細につきましては、2022年5月26日付三井住友信託銀行株式会社のニュースリリースをご参照ください。

<https://www.smtb.jp/corporate/release/>

#### （関連するS D G s）



#### S D G s (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのS D G s宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、S D G s に対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「S D G s実践計画」を策定しております。

以 上